

福山100NEN教育 2020年度(令和2年度)有磨小学校 全体構想図

福山市 めざす子ども像

福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子ども

中学校区 めざす子ども像

ふるさと芦田に愛着と誇りを持ち、未来を切り拓き、たくましく生きる子ども

学校教育目標

豊かな心を持ち、主体的に生きる 有磨っ子 を育てる
 「よく聴き 進んで学ぶ子」 「なかよく助け合う子」 「最後までやりぬく子」

児童の実態

- ・きまりを守る集団である。
- ・学習に意欲的に取り組む。基礎的学力はおおむね定着、活用する力に課題がある。進んで発表、結論先行・理由付け説明ができる児童が増えてきた。考えを深め、表現することが苦手な児童がいる。

課題

- ・経験や既習事項を根拠とし、自己の考えを豊かに表現する。
- ・自他とのかかわりを大切にし思考を深める。
- ・学んだことを日常の様々な場面で行動化する。

地域の実態・保護者の願い

- ・三世代にわたり本校の卒業生という家庭も多く、学校教育活動に対する理解協力支援の厚い地域である。
- ・児童が安心安全に過ごし、生き生きと活動する、豊かな学びのある学校を望んでいる。

重点課題

他者の考えを聞くことをとおして、自己の考えを深める 自己の考えを他者に話すことをとおして、自己の考えを高める

育成すべき”21世紀型スキル&倫理観”

問題解決・意思決定 コミュニケーション 思いやり

育成すべき”21世紀型スキル&倫理観”を身につけた児童生徒の姿

	小1・2	小3・4	小5・6, 中1	中2・3
問題解決 意思決定	課題に対してあきらめずに取り組み、類似点・相違点を見つけたり、理由づけをしたしながら表現している。	課題に対して見通しをもち、他の考えと比較したり、それをもとに新たな発見をしたりしながら解決している。	自ら課題を見つけ、複数の情報を元に、類推したり、深化させたりするなど、工夫しながら解決している。	自らの考えをもち、既習事項、収集した情報や生活体験などを根拠にして、比較、分類、関連付けて物事を考え、解決している。
コミュニケーション	自分の考えをはっきりと、最後まで伝えている。	友だちの考えとつなげたり、比較したりしながら話している。	話し手の意図を考えながら聞いたり、相手の意見を受けて自分の考えを話したりしている。	多様な他者との意見の違いを認め、思考・判断したことを分かりやすく表現したり、議論したりしている。
思いやり	学校や地域の人に自分から声をかけている。身近な人に温かい心で接し、親切にしている。	学校や地域の人と自分から関わろうとしている。相手の気持ちを考えて、進んで親切にしている。	学校や地域をより良くするために行動している。相手の立場に立ち、誰に対しても親切にしている。	地域や社会との関わり合いを通して、人としての思いやり、周りへの感謝の心を持ち、その気持ちを行動や言葉に表している。

取組の重点

- ◇「学校、授業は面白い」と感じさせるような教育活動の推進
- ◇「子ども主体の学び」「課題発見・解決学習」による授業づくり 【研究教科：体育、道徳】
 - ・児童の「言葉」と「気づき」でつないでいく授業の実践 ・「守破離」の考えに則った「型を破る」授業づくり
- ◇ESD教育の推進(ユネスコスクール登録) SDGsの次の3点に重点を置いた教育活動の推進
 - 「11 住み続けられるまちづくりを」 「15 陸の豊かさを守ろう」 「16 平和と公正をすべての人に」
 - ⇒「有磨自然プロジェクト」「有磨文化プロジェクト」の充実進化